
夜の少女

美夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜の少女

【Nコード】

N4360M

【作者名】

美夢

【あらすじ】

夢華は、まだ本来ならあどけない少女だった。

少し大人っぽかっただけ。

少し心が弱かっただけ。

ほんの短い間に、人を寄せつけない程の不良少女になっ
ていってしまう。

夜の街には居場所があった。

夢華はどんどんその世界に溺れていってしまう。

いつか、素晴らしい本当の愛に気づくまで…

まだ知らない夜の街…（前書き）

少女が、とあるキツカケから夜の街に飛び出してしまふ。
いつか、本当の愛や優しさに気付く日まで、

迷い込む深い穴。

思春期の苦しみの中に、探し求める人のぬくもりがある。
そんな夢華の気持ちを書いた作品です。

まだ知らない夜の街…

暗くなった街に、

1人立ち尽くし、携帯を握りしめる少女がいた。

名前は…

そう、名前すら聞けない様な、
刃やいばの様な少女だった。

「君さー、名前何て言うの？」

「……夢華ゆめかだけど？」

だから何よ！と言わんばかりの口調で、
話しかけてくる年上の少年を睨みつける。

「チッ」

可愛げのない態度に、立ち去る少年。
キツとした態度のまま、
握りしめていた携帯を見直す夢華。

さつきから繰り返し返す着信は、自宅からだった。
うるせーな。

と思う反面、心配している両親の顔が浮かぶ。
なのに、夢華は、

夜の街にただ1人たたずむのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4360m/>

夜の少女

2011年10月7日13時41分発行